



日本学校教育学会 第31回研究大会 プログラム

日程：2016年 8月 5日（金）・6日（土）・7日（日）

会場：名古屋市立大学 滝子キャンパス

後援：名古屋市教育委員会

目 次

大会のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
研究大会要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
大会会場図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
自由研究①～④（8月6日）・・・・・・・・・・・・・・・・	10
公開シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
情報交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
自由研究⑤～⑧（8月7日）・・・・・・・・・・・・・・・・	16
課題研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20



日本学校教育学会第 31 回研究大会のご案内

日本学校教育学会第 31 回研究大会が、2016 年 8 月 5 日（金）・6 日（土）・7 日（日）の三日間、名古屋市立大学（滝子キャンパス）で開催される運びとなりました。

本大会では、公開シンポジウムのテーマを「学習指導要領の改訂とアクティブラーニング ～学びをアクティブにするための特効薬・常備薬・漢方薬～」、課題研究のテーマを「教育研究と教育実践の融合はどこまで進んだか ～これからの教職大学院をどうとらえるか～」と設定しました。本年末には中央教育審議会答申が出され、本年度末には学習指導要領が告示される見通しであり、学校教育として一つの大きな節目を迎えることになりそうです。

このことは、教育研究においていかに理論と実践の融合を進めていくことができるのか、官製の教育ロジックを凌駕するだけの教育現場のペダゴジーを、どのように創造し構築していくことができるのか。そのための教員養成や教員継続教育をどのように価値あるものにしていけばよいのか。研究者と実践者が向き合うだけでなく、もっと踏みこんでの両者による智慧の融合が問われているのです。この二者に教育行政関係者を加え、ライブ感あふれる井戸端会議（シンポジオン）の場として、「三人寄れば文殊の智慧」のごとく話題が膨らんでいけば、本学会の創設の趣旨に沿った意見が交わされ、充実した大会になるものと期待しています。

多くの会員の皆さまのご参加をお願い申し上げます。

日本学校教育学会第 31 回研究大会準備委員長
原田 信之（名古屋市立大学）

1. 研究大会要項

〈大会日程〉

8月5日 (金)						理事会 16:30～18:30
8月6日 (土)	受付 8:15～	自由研 究発表 9:00～ 11:50	昼食 11:50～ 12:50	定期 総会 12:50～ 13:50	公開 シンポジウム 14:00～17:00	情報交換会 17:30～20:00
8月7日 (日)	受付 8:30～	自由研 究発表 9:00～ 11:50	昼食 12:00～ 13:00	課題研究 13:15～15:45		終了

〈日程と会場〉

○ 第1日目 8月5日 (金)

16:00～18:00 理事会

1号館 1階 103 会議室

○ 第2日目 8月6日 (土)

8:15～ 受付

1号館 1階ロビー

9:00～11:50 自由研究発表

1号館 2階 202～204, 206

11:50～12:50 昼食

※生協閉店

12:50～13:50 定期総会

1号館 2階 201 教室

14:00～17:00 公開シンポジウム

2号館 2階 207 教室

「学習指導要領の改訂とアクティブラーニング

～学びをアクティブにするための特効薬・常備薬・漢方薬～」

17:30～20:00 情報交換会

生協食堂

○ 第3日目 8月7日 (日)

8:30～ 受付

1号館 1階ロビー

9:00～11:50 自由研究発表 (その2)

1号館 2階 202～204, 206

12:00～13:00 昼食

※生協閉店

13:15～15:45 課題研究

1号館 2階 201 教室

「教育研究と教育実践の融合はどこまで進んだか

～これからの教職大学院をどうとらえるか～」

2. 大会参加要項

1 受付 1号館1階ロビーにて行います。

2 参加費

○大会参加費（正会員、非学会員）事前振込 3,000 円 当日 4,000 円

○情報交換会（懇親会）5,000 円 生協食堂

3 研究発表の時間等

（1）発表時間

○個人研究発表（登壇者が一人の場合）：発表 20 分 質疑応答 10 分

○共同研究発表（登壇者が複数の場合）：発表 30 分 質疑応答 10 分

※発表終了 5 分前に 1 鈴、発表終了時に 2 鈴を鳴らしますので、発表者は司会者の指示に従ってください。

（2）発表者の出席確認

発表者は、指定発表開始時間にかかわらず、会場の開始 10 分前に司会者に出席を通知してください。

（3）発表資料

発表資料は、自由発表の場合は 50 部、公開シンポジウムの場合は 120 部、課題研究の場合は 100 部を目安にご用意ください。

（4）発表機材

発表時に使用する機材に関しては、各会場に、プロジェクターとパソコンを用意しております。使用される場合は、係員の指示に従ってご使用ください。使用される場合は、8 月 6 日（土）、7 日（日）とも開始時刻の 15 分前までに会場に来て動作確認をしてください。特別なソフトや接続ケーブル等が必要な場合はご持参ください。

（5）所属名について

発表者、司会者等の所属名については、所属機関名称の記載を基本として部局名等の詳細は省略します。また、学生の発表者には、大学院生と表記します。

4 発表者が万一欠席される場合は、必ず大会準備委員会までご連絡ください。欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑討論・休憩にあてます。

5 会場

・受付	1号館1階ロビー
・理事会	1号館1階103会議室
・大会本部、役員控室	1号館1階103会議室
・自由研究発表（第1・8会場）	1号館2階202教室
・自由研究発表（第2・5会場）	1号館2階203教室
・自由研究発表（第3・6会場）	1号館2階204教室
・自由研究発表（第4・7会場）	1号館2階206教室
・定期総会	1号館2階201教室
・公開シンポジウム	2号館2階207教室
・課題研究	1号館2階201教室
・参加者控室	1号館2階205教室, 207教室
・書籍販売コーナー	1号館1階ロビー
・情報交換会	生協食堂

- 6 大会当日、大会準備委員関係者は、「スタッフ」と書いたネームプレートを付けておりますので、ご不明な点がございましたら連慮なくお申し付けください。

7 昼食

大会中8月6日（土）、7日（日）のお弁当を事前申し込みされた方は、1号館1階ロビー付近でお弁当を受け取ってください。両日とも生協食堂は営業しておりません。近隣のコンビニや飲食店をご利用ください。地下鉄桜山駅周辺にも多数あります。

- 8 宿泊につきましては、大会事務局では対応いたしませんので、各位にて宿泊の予約をお願い致します。

9 交通機関

最寄り駅は、桜山駅（地下鉄桜通線）で、5 番出口から徒歩 12 分ほどです。

金山駅からは、市バス金山 7 番のりば より金山 11・12・16「滝子」下車、もしくは金山 8 番のりば より金山 14(桜山経由)「滝子」下車からでもお越しいただけます。

以下のホームページもご参照ください。 <http://www.nagoya-cu.ac.jp/1481.htm>



10 その他

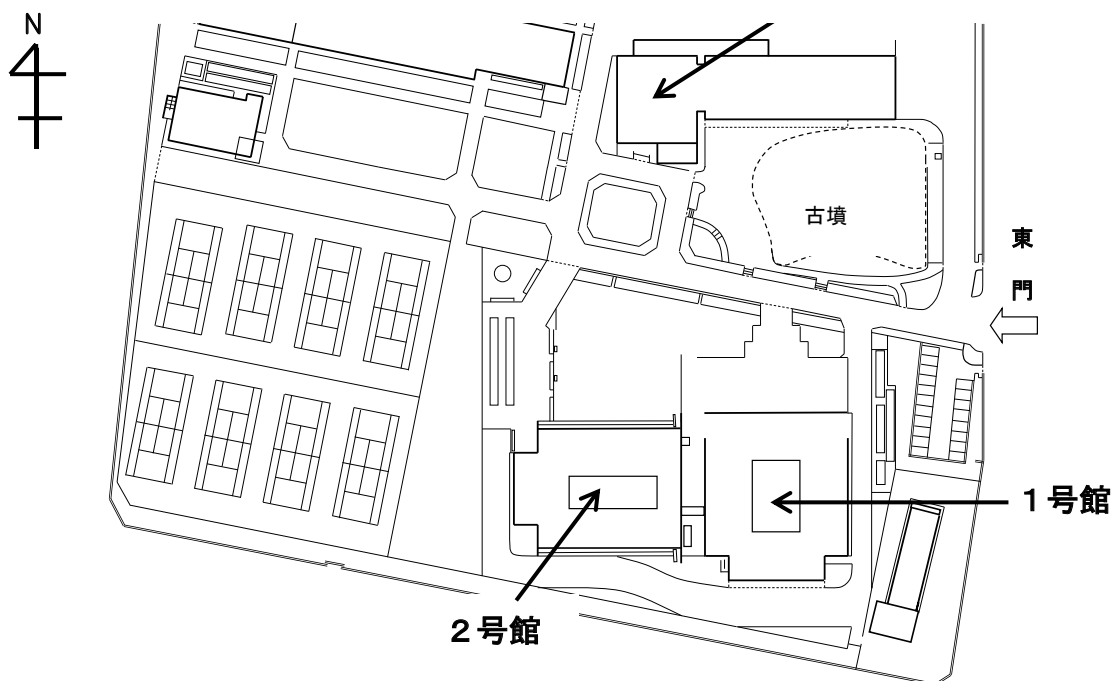
大学敷地内は全面禁煙となっておりますのでご承知の上ご協力お願い致します。

大会会場図

会場図① 滝子キャンパス配置図と生協食堂

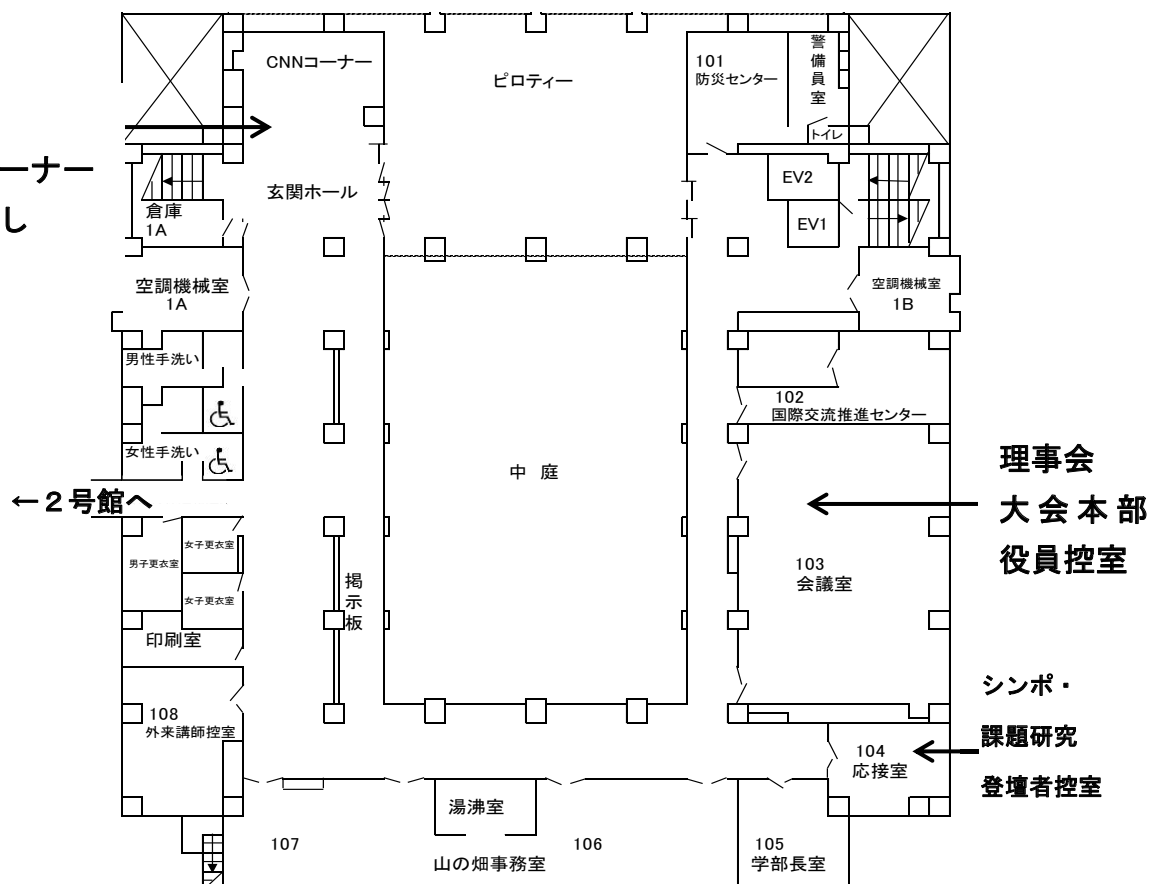
生協食堂

8月6日 情報交換会



会場図② 1号館1階

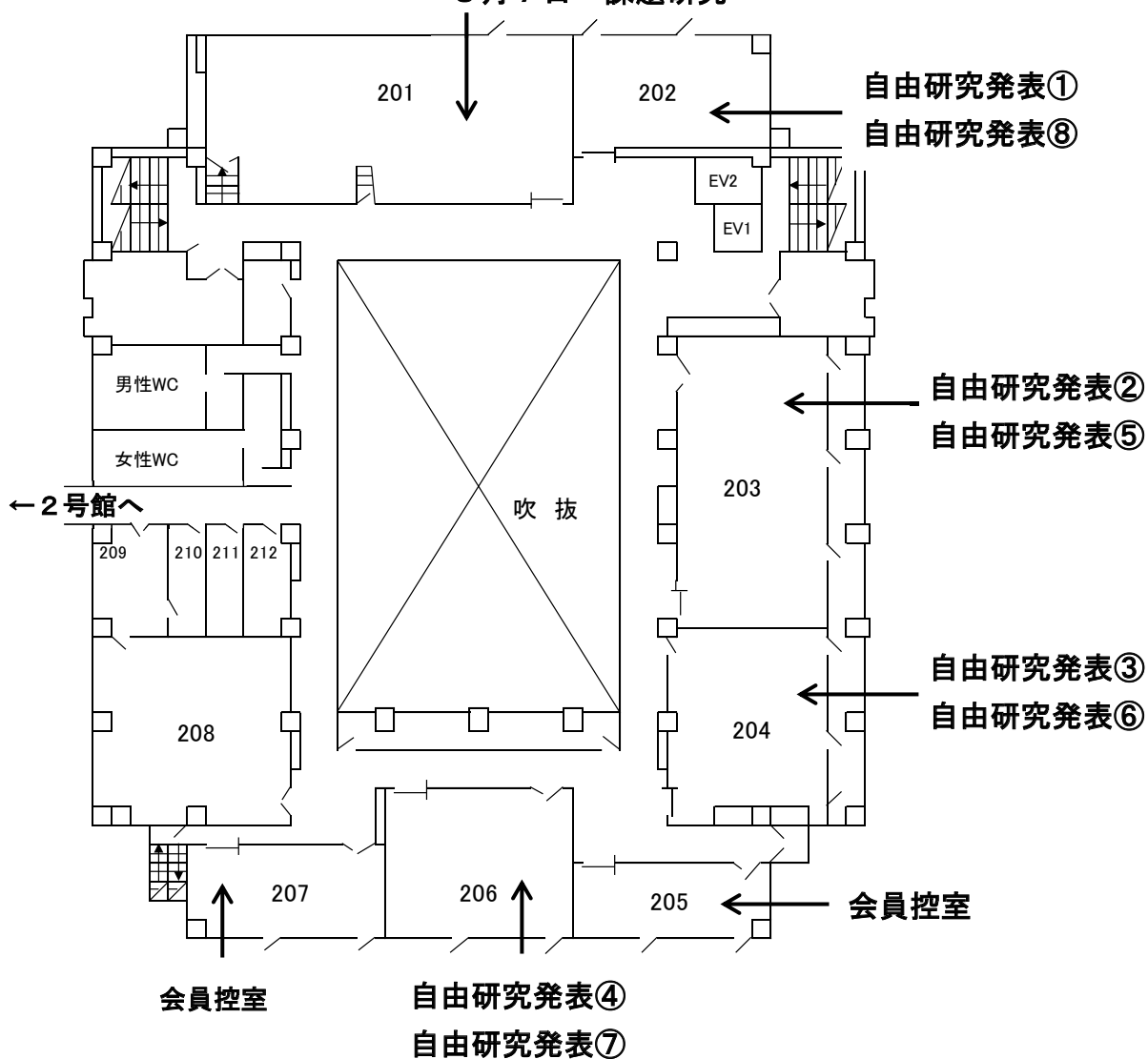
受付
書籍販売コーナー
弁当引き渡し



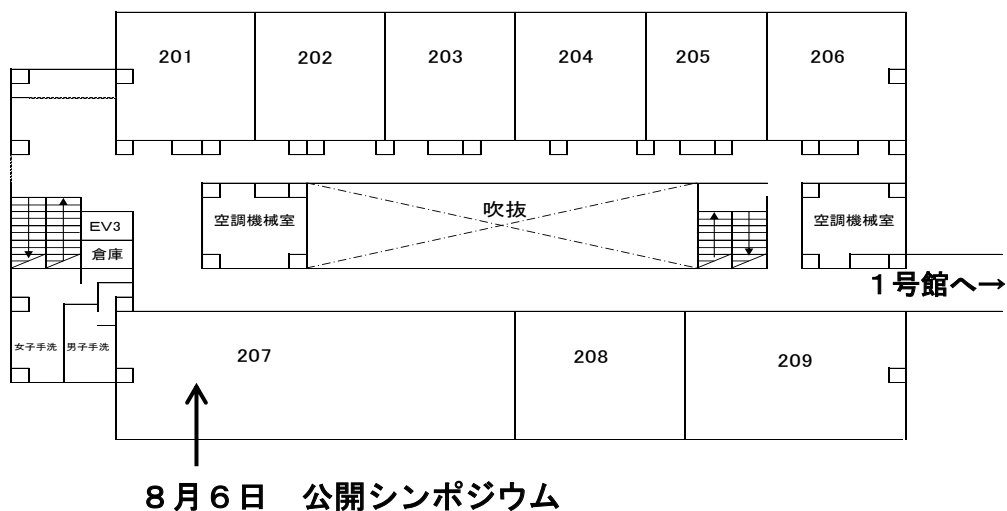
会場図③ 1号館2階

8月6日 定期総会

8月7日 課題研究



会場図④ 2号館2階



自由研究発表 ①

司会者 釜田 聡 (上越教育大学)
安藤 雅之 (常葉大学)

(1) 9:00-9:30

夜間定時制課程に在籍する生徒の一考察 —都立A高等学校を事例として—
竹熊 孝博 (東京都立神代高等学校)

(2) 9:30-10:00

「ポストモダン社会」と道德教育
—ボーダー(境界)を考えることからアイデンティティの形成をめざす実践を通して—
小嶋 祐伺郎 (奈良教育大学附属中学校)

(3) 10:00-10:30

多様性を尊重する授業を構築するための要素についての一考察
—短大生を対象とした自由作文の授業から—
○近藤 万里子 (帝京短期大学)
星山 麻木 (明星大学)

(4) 10:30-11:00

不登校問題に対する学校・教師の取り組み・意識についての現状と課題
—石巻地区での深刻な不登校問題との関連から—
○新福 悦郎 (石巻専修大学)
照井 孫久 (石巻専修大学)

(5) 11:00-11:30

通常の学級における聴覚障害のある児童生徒への配慮と支援に関する動向
下中村 武 (兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)

8月6日(土) 9:00-11:50

1号館2階203教室

自由研究発表 ②

司会者 林 泰成(上越教育大学)
生澤 繁樹(名古屋大学)

(1) 9:00-9:30

座学におけるアクティブ・ラーニングの可能性
ー学修の能動性確保の基礎要件ー

小林 淳一(金沢学院大学)

(2) 9:30-10:00

資源・エネルギー問題に着目した世界史教育内容開発研究
ー産業遺産を教材としてー

祐岡 武志(奈良県教育委員会事務局 文化財保存課)

(3) 10:00-10:30

水俣病学習における単純化の問題 ー田中裕一実践と斎藤喜博ー

内山 仁(鹿児島国際大学)

(4) 10:30-11:00

新教科創設期における研究推進校の生活科授業の特質に関する一考察
ー愛知県宝飯郡御津町立御津南部小学校の実践を事例としてー

白井 克尚(愛知東邦大学教育学部)

(5) 11:00-11:30

子どもの身近な環境知覚に関する一考察

橘田 重男(静岡福祉大学)

8月6日(土) 9:00-11:50

1号館2階204教室

自由研究発表 ③

司会者 廣瀬 裕一(上越教育大学)
坂本 徳弥(椙山学園大学)

(1) 9:00-9:30

学校で協働して進める生活科の評価に関する研究
ーモデレーション研修を手がかりとしてー

○香田 健治(関西福祉科学大学)
佐藤 真(関西学院大学)

(2) 9:30-10:00

学校経営におけるESDの推進とそのアクティブ・ラーニングへの活用
吉田 富昇(千葉県立流山おおたかの森高等学校)

(3) 10:00-10:30

学校と博物館の連携に関する研究(1)
ー教員と学芸員の在り方に着目した考察ー

林 幸克(明治大学)

(4) 10:30-11:00

特別活動におけるアウトリーチ型キャリア教育の実践に関する研究
ー学習指導要領特別活動の目標および内容を踏まえてー

山崎 保寿(静岡大学)

8月6日(土) 9:00-11:50

1号館 2階 206 教室

自由研究発表 ④

司会者 古賀 一博(広島大学)
瀬戸 健(上越教育大学)

(1) 9:00-9:30

未履修問題に関する文部科学省の対応について

千葉 知樹(上越教育大学教職大学院)

(2) 9:30-10:00

「校訓論」にみる校訓制定可否論争の論考分析についての研究

嶋 耕二(明星大学通信制大学院 石川県教育委員会事務局)

(3) 10:00-10:30

義務教育に法制における「多様な学び保障法案」の意義

ー法案作成プロセスと条文における「個別学習計画」の意義の検討を中心にー

牛 玄(東京学芸大学大学院教育学研究科)

(4) 10:30-11:00

現代学校教育における教師の教育権・教育の自由についての一考察

佐々木 幸寿(東京学芸大学)

日本学校教育学会第 31 回研究大会
公開シンポジウム

8 月 6 日（土）14：00～17：00

2 号館 2 階 207 教室

【テーマ】学習指導要領の改訂とアクティブラーニング

～学びをアクティブにするための特効薬・常備薬・漢方薬～

21 世紀型能力や汎用的能力などの能力の育成には教え方や学び方の変容なくしては実現が困難なことから、新たな能力概念の抬頭は、授業の変容・質向上を求める動向として把握することができる。効果的な学びを実現する「変化とは、学校において、これまでと異なる内容を扱うことではなく、これまでとは異なる内容との交わり方をすることであり、違う方法で授業を行うことである。」(SINUS-T より) この欧米で開発された学力向上プログラムが掲げる指導理念は、新たな能力育成には孤業（個業）としての学習からの転換、即ち、学習者各自の主体性を基盤にした協同的・探究的な学習の組織化が欠かせないことを基本に据えている。

かつて一部の大学教育に端を発し、それが学校教育現場へと波及し、次期学習指導要領の改訂論議でもクローズアップされているのが「アクティブラーニング（AL）」である。

中央教育審議会教育課程企画特別部会がまとめた論点整理（2015 年 8 月）では、AL の視点から、「習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程、…対話的な学びの過程、…主体的な学びの過程が実現できているかどうか」が問われている。AL の実態は千差万別であるが、それを自らの指導方法を見直し改善していく旗印と位置づけるとすれば、上記 3 つの「学びの過程」を実現するには、教師の指導過程や児童生徒の学習過程の何をアクティブにすることが効果的なのであろうか。また、どのような学習環境の構成が求められるのだろうか。例えば、①活動的・体験的な学習を特質とし、学力を押し上げる効果があるとのデータが公開された総合的な学習の時間は、この問いの有力なモデル足りうるのだろうか。②協同学習はグループ学習リバイバルといわれるほどのブームを引き起こしているが、それは AL の特効薬なのだろうか。協同学習論者がグループ編成学習と敢えて区別する真意はどこにあるのか。③教授・学習の質向上が AL の旗印だとすれば、それを成功に導く鍵はどこにあるのか。授業者は何に目を向けるべきなのか。学習環境の整備はどこまで有効なのか。

AL ブームに左右されることなく、学習を真にアクティブにするための要（かなめ）は何か、AL（アクティブラーニング）の課題と今後の展望に迫ることとする。

シンポジスト（五十音順）

田村 学（文部科学省初等中等教育局視学官）

早川三根夫（岐阜市教育長・第 7 期中央教育審議会委員）

水野正朗（名古屋市立桜台高等学校教諭、愛知文教大学講師）

司会・コーディネーター 原田信之（名古屋市立大学）

情報交換会

8月6日（土）

17:30～20:00

@生協食堂

8月7日（日）9:00-11:50

1号館2階203教室

自由研究発表 ⑤

司会者 和井田 清司（武蔵大学）
宇都宮 明子（佐賀大学）

（1） 9：00－9：30

子どもが主体的に取り組む防災学習

横井 成美（名古屋市立内山小学校）

（2） 9：30－10：00

グアム修学旅行を通しての生徒の学びと変容

南 美佐江（奈良女子大学附属中等教育学校）

（3） 10：00－10：30

高1「英語会話」授業実践報告

－アクティブラーニングの視点から－

伊藤 清（名古屋高等学校）

（4） 10：30－11：00

合理的意思決定能力の育成を意図した社会科教育研究の成果と課題

小野間 正巳（関西福祉大学）

（5） 11：00－11：30

アクティブ・ラーニングを取り入れた「授業スタイル」開発に関する実証的研究
－教職課程科目「教育の方法と技術」における実践から－

白鳥 絢也（常葉大学）

自由研究発表 ⑥

司会者 黒羽 正見（群馬大学）
善野 八千子（奈良学園大学）

（1） 9：00－9：30

人材育成のためのチーミングによるメンターチームマネジメント
～遠足、宿泊的行事のしおりをシナリオ化した事例を通して～

○木村 昭雄（横浜市立小田小学校・横浜国立大学大学院）
米澤 利明（横浜国立大学）

（2） 9：30－10：00

学校組織のメンター研修における協働性の確立

○小川 亮（北海道教育大学教育学研究科高度教職実践専攻）
武田 竜太（北海道教育大学教育学研究科高度教職実践専攻）

（3） 10：00－10：30

若手教員は、どのような道筋を通して授業力を伸ばすか

瀬戸 健（上越教育大学）

（4） 10：30－11：10

グローバル時代に対応した教員研修プログラムの開発

○中山 博夫（目白大学）
石田 好広（目白大学）
小林 恭子（目白大学）

8月7日（日）9:00-11:50

1号館2階206教室

自由研究発表 ⑦

司会者 多田 孝志（目白大学）
松井 千鶴子（上越教育大学）

（1） 9：00－9：30

北海道「ことばの教育」の展開過程に関する研究

田中 謙（山梨県立大学）

（2） 9：30－10：00

知識伝達型授業再考 ―学び合いを妨げる多様な要因―

岡本 久美子（名古屋市立中学校）

（3） 10：00－10：30

台湾における科学技術系応用日本語学科生の動機付けと
学習信念に関する縦断的研究

林 明煌（国立嘉義大学教員養成センター）

（4） 10：30－11：00

新構想の日本の高等学校の教育課程 ―進化する通信制課程―

小島 一芳（神村学園）

（5） 11：00－11：30

教員の倫理感を高める授業の取り組み
～『社会と教員の在り方』の授業をとおして～

山内 隆之（山形大学大学院教育実践研究科）

8月7日(日) 9:00-11:50

1号館2階202教室

自由研究発表 ⑧

司会者 山口 満 (関西外国語大学)
山本 礼二 (目白大学)

(1) 9:00-9:30

複線経路・等至性モデル (Trajectory Equifinality Mode:TEM) による
女性校長のキャリア形成とスクールリーダー力量の構築

青木 一 (信州大学)

(2) 9:30-10:00

学校経営に果たす主幹教諭の役割遂行上の意識に関する事例的研究

○小宮山 めぐみ (上越教育大学教職大学院)

瀬戸 健 (上越教育大学教職大学院)

(3) 10:10-10:30

現代の小学校に求められるスクールミドル

石川 雄一郎 (神奈川県海老名市立今泉小学校)

(4) 10:30-11:00

若手教員は、どのような道筋を通して授業力を伸ばすか

瀬戸 健 (上越教育大学教職大学院)

日本学校教育学会第 31 回研究大会

課題研究

8 月 7 日（日）13：15～15：45

1 号館 2 階 201 教室

【テーマ】教育研究と教育実践の融合はどこまで進んだか

ーこれからの教職大学院をどうとらえるかー

研究推進委員会では、教職大学院に求められる「理論と実践の融合」の現状と課題について、教育実践研究とは何かという根源的な問いや教職大学院における研究者の「当事者性」、歴代学会長の振り返りという視点から多面的に検討し、問題提起をしてきた。

課題研究や公開研究会のテーマ設定趣旨でも述べてきたように、2006 年 7 月の中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」で提言された教職大学院は、実際の設置（2008 年度）から 10 年近く経過し、その内実が問われている。特に、「理論と実践の融合」に関わって、「当事者性」や「理論と実践の間の溝」の問題などを考えると融合に至るには課題が多い。その一方で、2012 年 8 月の中教審答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」において「高度専門職としての教員の育成システムを確立するうえでモデルを提供していることは疑いのないところである」としてその成果が認められ、今後もスクールリーダー養成のみならず、広く教員養成の核となっていくことが予想されている。改めて言うまでもないが、真に教職大学院が教員養成やリーダー養成の核になれるか否かは教職大学院の独自性の根拠とされる「理論と実践の融合」がどこまで進むかという問題と密接に関わっている。

本課題研究では、本年度から国立大学を中心に一気に設置が進む教職大学院をどうとらえたらいいのか、政策面、実践面両面からその可能性を探ることで今後の教員養成や教育学研究における「理論と実践の融合」のかたちを問いたいと考えている。

発表者：

「これから求められる教員の資質・能力と教職大学院の役割」

静岡県教育委員会義務教育課長 林 剛史

「教職大学院の現状と課題」

常葉大学教職大学院研究科長 安藤雅之

「教職大学院のカリキュラムを考える」

上越教育大学副学長 廣瀬裕一

司会：

堀井啓幸（常葉大学）・根津朋実（筑波大学）

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

http://www.kitaohji.com

振替 01050-4-2083

21世紀型カリキュラムと 教育の4つの次元【仮題】

—2016年秋 発刊予定！— C. ファデル他著 岸学
監訳 A5・約224頁・予価2200円＋税 知識・スキル（創
造性や批判的思考等）・人間性（好奇心・レジリエンス・
リーダーシップ等）・メタ学習（メタ認知等）の4次元で、
今後必要とされるコンピテンシーの枠組みを提示。新
学習指導要領で検討されている「学びの構造」との重
なりも解説。

養育者から 社会情動的スキルを育む【保育内容 人間関係】

—乳幼児期から小学校へつなぐ非認知能力とは— 無
藤 隆・古賀松香編著 B5・184頁・本体2300円＋税
小学校以降の学習を支える力として、社会情動的スキ
ルを育むことが重要な教育課題となっている。保幼小
接続の視点から課題を整理し、具体的な保育実践研究
を中心に、「折り合う姿」という発達段階と、それ
に対する保育者の援助を提案する。

シリーズ「特別の教科 道徳」を考える 全3巻

渡邊 満・押谷由夫・渡邊隆信・小川哲哉編 A5判・
220～248頁・各巻本体2000円＋税 教科化という転換
点にあって、中長期的な視点から、今後求められる学
校での道徳教育や授業のあり方を、理論的かつ実践的
に追求。第1巻では討議倫理学など理論的枠組みを提
供、第2巻では小学校、第3巻では中学校における授
業実践を発達段階に応じてまとめる。

メタ認知の促進と育成

—概念的理解のメカニズムと支援— 深谷達史著
A5上製・212頁・本体3200円＋税 生徒の思考をアク
ティブに働かせるためにどのような働きかけが求められ
るかを丹念に吟味。学習の質をいかに高められるかと
いう問いに挑み、メタ認知の働きを高める方法を、実
証的に明らかにする。教育実践の場を活用した研究も
含まれ、教育関係者にも有用性が高い書。

学習科学ハンドブック 2ndエディション 【第2巻】【仮題】

—2016年秋 発刊予定！— R. K. ソーヤー編 森
敏昭・秋田喜代美・大島 純・白水 始監訳 B5・
約288頁・予価3700円＋税 子どもはいかに学ぶのか。
21世紀型スキルやアクティブ・ラーニングなどのコン
セプトの背景にある学習科学の最新知見を紹介。教え
ること／学ぶことを科学的に解明する学習科学の研究
を包括的に網羅する全3巻。

協調学習とは

—対話を通して理解を深めるアクティブラーニング型
授業— 三宅なほみ 東京大学CoREF 河合塾編著
A5・216頁・本体2000円＋税 認知科学・学習科学の
知見を背景とし、主体的な学びを引き出す授業づくり
を、官民学一体の共同実践研究としてまとめる。「知
識構成型ジグソー法」を平易に解説し、高校生向け授
業の実践例を教科毎に紹介。

英語教育学と認知心理学のクロスポイント

—小学校から大学までの英語学習を考える— 太田信
夫・佐久間康之編著 A5・320頁・本体3600円＋税
英語教育の低年齢化や受験英語からの脱却の流れの中、
記憶研究の知見を応用しようとする試みが目立ってきた。
双方の研究者間のコラボレーションを通して、外
国語習得研究における認知心理学の重要性を提言する。

自ら学び考える教育の方法と技術

子どもを育てる
自己調整学習研究会監修 岡田 涼・中谷素之・伊藤
崇達・塚野州一編著 A5・272頁・本体2500円＋税
学習と動機づけに関する心理学の視点から、教育実践
における指導の方法や技術を包括的に捉える。自ら学
ぶ意欲やICTを用いた協調学習の技法、テストの作成
と運用等、具体的な研究知見を教育現場との繋がりを
もたせて紹介。

改訂エンスaikロペディア 心理学研究方法論

W. J. レイ著／岡田圭二編訳 本体5000円＋税

心理学基礎実習マニュアル

宮谷真人・坂田省吾代表編集 本体2800円＋税

心理学教育のための傑作工夫集

L. T. パンジャミン・ジュニア編／中澤 潤他監訳 本体2800円＋税

わかって楽しい心理統計法入門 Ver.2

松田文子・三宅幹子・橋本優花里著 本体2500円＋税

増補改訂 SPSSのススメ1

竹原卓真著 本体3200円＋税

改訂新版 初めての心理学英語論文

D. シュワープ・B. シュワープ・高橋雅治著 本体1900円＋税

現代の認知心理学1 知覚と感性

日本認知心理学会監修／三浦佳世編 本体3600円＋税

現代の認知心理学2 記憶と日常

日本認知心理学会監修／太田信夫・蔵島行雄編 本体3600円＋税

現代の認知心理学3 思考と言語

日本認知心理学会監修／楠見 孝編 本体3600円＋税

アクティブラーニング・シリーズ(各A5判)

監修 溝上慎一 全7巻 同時発売中

・アクティブラーニングは今や大学・高校のみならず小学校・中学校を含め日本の全段階の教育を大きく刷新する画期的な教育運動となっている。本シリーズは、アクティブラーニングのすべてを、巻を追って包括的に把握できるように編纂された総合的体系書である。

①アクティブラーニングの技法・授業デザイン 安永悟・関田一彦・水野正朗編 一五二頁・一六〇〇円

②アクティブラーニングとしてのPBLと探究的な学習 溝上慎一・成田秀夫編 一七六頁・一八〇〇円

③アクティブラーニングの評価 松下佳代・石井英真編 一六〇頁・一六〇〇円

④高等学校におけるアクティブラーニング理論 溝上慎一編 一四四頁・一六〇〇円

⑤高等学校におけるアクティブラーニング事例 溝上慎一編 一九二頁・二〇〇〇円

⑥アクティブラーニングをどう始めるか 成田秀夫著 一六八頁・一六〇〇円

⑦失敗事例から学ぶ大学のアクティブラーニング 亀倉正彦著 一六〇頁・一六〇〇円

アクティブラーニングと教授学習
パラダイムの転換(7刷)
溝上慎一著 A5判・並製・二〇八頁・二四〇〇円

「主体的学び」につなげる評価と学習方法
—カナダで実践されるICTモデル
S・ヤング/J・ウィルソン著 土持ゲリー法一監訳
A5判・並製・二二八頁・一〇〇〇円

主体的学び 創刊号・第4号 以下既刊

主体的学び研究所編 各A5判・並製・一六〇〇頁・二〇〇〇円
創刊号 特集：パラダイム転換—教育から学習へ
第2号 特集：反転授業が全てを解決するのか
第3号 特集：アクティブラーニングとポートフォリオ
第4号 特集：アクティブラーニングはこれでいいのか

現代日本教育の総合的考察

最新刊 日本教育をどうデザインするか
村田翼夫・上田学・岩槻知也編著 A5判・並製・二七二頁・一八〇〇円

今日の教育実践の具体的な再考

学級規模と指導方法の社会学
—実態と教育効果
山崎博敏編著 A5判・並製・一九二頁・二〇〇〇円

新刊 グローバリゼーションとカリキュラム改革
—海外の研究者が見た「総合的な学習の時間」
ラリー・マクドナルド著 A5判・並製・一九二頁・一七〇〇円

今日の社会・文化変容と子ども・若者

子どもが生きられる空間
—生経験・意味生成
高橋満著 四六判・上製・二七二頁・二四〇〇円

流動する生の自己生成
—教育人間学の視界
高橋満著 四六判・上製・二七二頁・二四〇〇円

文化変容のなかの子ども
—経験・他者・関係性
高橋満著 四六判・上製・二四〇頁・三〇〇〇円

子ども・若者の自己形成空間
—教育人間学の視線から
高橋満編著 A5判・上製・三二二頁・二七〇〇円

発達障害支援の社会学
—医療化と実践家の解釈
木村祐子著 A5判・上製・二四〇頁・三六〇〇円

アメリカ公立学校の歴史からの示唆

新刊 アメリカ公立学校の社会学
—コモンズスクールからNCCLB法まで
W・J・リース著 浅沼茂・小川佳万監訳
A5判・上製・五二八頁・四六〇〇円

新たな教育・学習実践の展開

新刊 文字を手書きさせる教育
—書きに何が
鈴木慶子著 A5判・並製・二六四頁・二四〇〇円

新刊 視写の教育
—「からだ」に読み書きさせる
池田久美子著 A5判・並製・二四〇頁・二四〇〇円

演劇教育の理論と実践の研究
—自由ヴァルドール学校の演劇教育
広瀬綾子著 A5判・上製・二七二頁・三八〇〇円

協同と表現のワークショップ(第二版)
—学びのための環境のデザイン
編集代表 茂木一司 A5判・並製・二八〇頁・二四〇〇円

社会と関わる教育の諸相

社会形成力育成カリキュラムの研究
—社会科・公民科における小中高一貫の政治学習
西村公孝著 A5判・上製・五二〇頁・六五〇〇円

アメリカ公民教育における
サービス・ラーニング
唐木清志著 A5判・上製・三八四頁・四六〇〇円

新刊 社会科は「不確実性」で活性化する
—未来を開くコミュニケーション型授業の提案
吉永潤著 A5判・上製・二〇八頁・二四〇〇円

メディア・リテラシー教育における
批判的「な思考」力の育成
森本洋介著 A5判・上製・三三六頁・四八〇〇円

近刊 社会を創る市民の教育
—協働によるシティズンシップ教育の実践
大友秀明・桐谷正信編著 A5判・並製

A5判・並製

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-20-6
http://www.toshindo-pub.com

東信堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514
Email tk203444@fsinet.or.jp [価格税別]

「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料
A5判、二三八一円＋税

No.48 (第45回教育展望セミナー)

2016年7月発行、124頁

これからの時代に求められる資質・能力〈学校教育の質を問う〉

No.47 (第44回教育展望セミナー)

2015年7月発行、124頁

グローバル化社会の学校教育Ⅱ〈これからの社会に求められる資質・能力〉

研究紀要

B5判

第96号 小・中学校における「カリキュラム・マネジメント」の現状と今後の課題
2016年7月発行、96頁、1019円＋税

第95号 小・中学校におけるアクティブ・ラーニングの実態と今後の課題
2015年7月発行、96頁、972円＋税

第94号 小・中学校の教育課程実施状況の実態と今後の課題
2014年6月発行、108頁、1019円＋税

月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、四四八円＋税

2016年 特集

7・8月合併号 次期学習指導要領とこれからの高校教育

6月号 考え、議論する道徳

5月号 これから求められる特別支援教育

4月号 カリキュラム・マネジメントとこれからの学校教育

3月号 これからの時代に求められる教師力

1・2月合併号 明日の教育課程を展望する

2015年 特集

12月号 第44回教育展望セミナー 分科会報告

11月号 第44回教育展望セミナー 全体会報告

10月号 ICT活用とこれからの授業づくり

9月号 アクティブ・ラーニングの学習像

一般財団法人 **教育調査研究所**

〔理事長 新井郁男〕

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
TEL: 03-3238-6974 FAX: 03-3238-6975
E-Mail: chouken@estate.ocn.ne.jp

アクティブ・ラーニング 実践の手引き

Guide of active learning practice

各教科等で取り組む「主体的・協働的な学び」

田中博之〔著〕
早稲田大学大学院教授

アクティブ・ラーニングのとりえ方、
授業のつくり方、
校内での進め方まで、
この1冊でバッチリわかる!

教育開発研究所



アクティブ・ラーニング 実践の手引き

★中教審「論点整理」をふまえた

アクティブ・ラーニングのとりえ方、
詳細な授業のつくり方と豊富な実践事例、
校内でのスムーズな推進策まで解説した、
各教科等でALを実践するための手引き書!

大好評発売中!

田中博之〔著〕

(早稲田大学教職大学院教授)

B5判/208頁/定価(本体2,200円+税)

教育開発研究所

〒113-0033 東京都文京区本郷2-15-13 TEL03-3815-7041 / FAX0120-462-488

ネット注文はこちら <http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp>

教育開発研究所

検索

日本学校教育学会 編

これから 学校教育を担う 教師を目指す 思考力・実践力アップのための 基本的な考え方とキーワード

学び続ける教員、 これからの 学校教育をリードする 教員になるために

30th
日本学校教育学会
30周年記念
Foundation Japanese Association of School Education

主な内容

第Ⅰ部

今、学校教育は
どういう位置に置かれているか

第Ⅱ部

実践から研究へ

第Ⅲ部

教育の今を知る50のキーワード

■A5判 ヨコ組208ページ ■定価2,200円+税

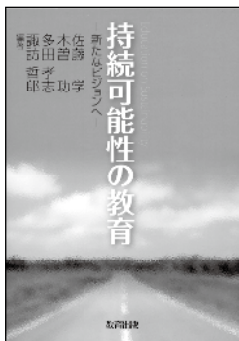
学事出版 千代田区外神田2-2-3 TEL03-3253-4626 FAX03-3253-514 <http://www.gakuji.co.jp>

持続可能性の教育

—新たなビジョンへ

佐藤 学・木曾 功・
多田孝志・諏訪哲郎 編著
A5判・144頁
定価：本体1,800円+税

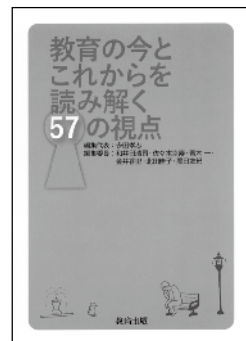
地球社会全体が未曾有の変革の時代を迎えている今、「持続可能性の教育」について理論的かつ実践的に検討し、希望ある未来社会を構築する次世代の担い手を育成する方向を提示する。



教育の今とこれからを読み解く 57の視点

編集代表：多田孝志
編集委員：和井田清司・佐々木幸寿・
青木 一・金井香里・
北田佳子・黒田友紀

A5判・216頁
定価：本体2,400円+税
57の視点（キーワード）から、
学校・子ども・教育制度・カリ
キュラム・教育方法の現在と未
来を読み解く。



対話力を育てる 共に創る対話力 授業で育てる対話力

—「共創型対話」が拓く
地球時代のコミュニケーション

多田孝志 著 定価：本体2,200円+税

—グローバル時代の
対話指導の考え方と方法

多田孝志 著 定価：本体2,200円+税

—グローバル時代の
「対話型授業」の創造

多田孝志 著 定価：本体2,200円+税

教育出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
TEL：03-3238-6965 FAX：03-3238-6999
<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



こちらから
弊社サイトに
アクセスできます。



子どもの姿で探る問題解決学習の学力と授業 —実感的なわかり方と基礎基本—
市川博著
問題解決学習の基本的理念と指導方法の原点等を具体的に明らかにする。
A5判/240頁
●定価3024円

教師の条件 —授業と学校をつくる力「改訂版」—
小島弘道・北神正行・永本徳明・平井貴美代・安藤知子 著
これからの時代に求められる「教師の条件」とは。施策や政策の展開にあわせ改訂。
A5判/280頁
●定価2808円

人間の教育を求めて —教育学概論—
大崎素史・坂本辰朗・井手華奈子・牛田伸・井上伸良 著
わが国および世界でみられる教育状況を凝視、今後の教育のあるべき姿を考える。
A5判/224頁
●定価2700円

男子問題の時代? —錯綜するジェンダーと教育のポリテイクス—
多賀太著
ジェンダー平等をめぐる教育現場での錯綜は男子になにをもたらすか。
46判/240頁
●定価2376円

日本の教育を考える —現状と展望【第3版】—
望月重信・播本秀史・岡明秀忠 編著
日本の教育における現状と課題について、多角的な視点から考察を行う【第3版】。
A5判/248頁
●定価2700円

講座 現代学校教育の高度化
現代の教育法制
「考える教師」—省察、創造、実践する教師
生涯学習と学習社会の創造
スクールリーダーシップ
学校づくりとスクーリング
学校づくりの組織論
授業づくりと学びの創造
学校教育と生活指導の創造※
学校教育と心理教育的援助サービスの創造
学校教育とキャリア教育の創造
学校教育と道徳教育の創造
学校改善と校内研修の設計
学校教育と国民の形成
社会参画と社会科教育の創造
リテラシーを育てる英語教育の創造※
小島弘道 監修
各巻 定価2268円
●印のみの定価2700円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

教育研究支援企業(株)三恵社

少発行出版・少数数テキスト出版

出版2400タイトルを超える実績。

少数数テキスト出版

昨今、少子化で大学の授業を受ける生徒数が減ってきています。弊社の少数数テキスト出版では受講生徒数が少なくても先生の費用負担なしで正式な出版をご提案致します。
ISBNコードを取得して、アマゾンで全国販売もできます。先生の授業に合わせたテキストを作りませんか?

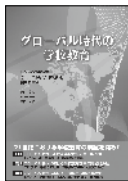
少発行出版

一般的な自費出版では数百万もの費用がかかってしまいます。しかし、弊社では三十万円前後の費用で正式な出版ができ、絶版なしでロングテールで販売できる仕組みをご提案します。少数数での出版が可能である為、ご予算に応じてご提案ができます。少数数でも全国への販売ができます。

■Eメール入稿だけでテキスト制作から出版まで対応!

■カラーページの少数数も安価で対応!

出版物事例

 協同の学びをつくる 定価: ¥1,800+税 編著者: 和井田 節子 柴田 好章	 グローバル時代の学校教育 定価: ¥2,800+税 著者: 日本学校教育学会 多田 孝志 黒田 友紀 他	 東アジアの学校教育 定価: ¥3,500+税 編著者: 和井田 清司 張 建 牛 志奎 林 明雄 他	 未来を拓く児童教育学 定価: ¥3,000+税 著者: 目白大学 人間学部 児童教育学科
--	--	--	---

■超極少数の論文集・報告書等にも対応!

■全国250大学でご利用頂いている実績あり!

●詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.sankeisha.net>

●詳しくご説明させていただきます。
E-mail info@sankeisha.com



株式会社 三恵社
出版事業部

本社
☎052-915-5211
〒462-0056 名古屋市中区丸町2-24-1
FAX 052-915-5019

東京営業所
☎03-6657-0970
〒132-0035 東京都江戸川区平井5-12-6-102
FAX.03-6657-0971

新聞の新しい魅力を 提案します

切抜き速報®シリーズ 月刊誌／定期購読

[月刊] 切抜き速報® **教育版**

教育全般に関するニュースを1冊で！

学校経営・運営、教職員、学校安全等、学校・教員・子どもを取り巻く問題とその取り組みの記事を収録。

- A4判 168頁
- 年間購読料：27,720円（本体25,667円+税・送料サービス）



朝日・産経・日経・毎日・読売の全国紙をはじめ北海道から九州・沖縄までのブロック紙、地方紙をあわせた85紙より各テーマの主要記事を収録！

[月刊] **コラム歳時記SP版**

地方紙のコラムを厳選！

朝刊1面にあるコラムを全国の地方紙から選りすぐり200本を掲載。書きうつし等にご活用ください。

- A5判 216頁 12冊 + 読み比べ A5判 128頁 1冊
- 年間購読料：16,188円（本体14,989円+税・送料サービス）

読み比べシリーズ 1冊から購入可能

新刊

食物アレルギー記事 読み比べ

学校・保育現場の事故対策を収録。誤食事故を起こさないために。アレルギーの図解資料、メニューのヒントも収録。

- A4判 96頁
- 1,800円（本体1,667円+税）2016年3月発行

特別支援教育記事 読み比べ

発達障害と診断された子どもたちへの療育・学習支援に関する記事を収録。支援の歴史を辿る1990年代の記事も！

- A4判 72頁
- 1,998円（本体1,850円+税）2015年6月発行

PISA記事 読み比べ②

OECDの学力到達度調査第5回（2012年）の報道を中心に収録。著名人の新聞掲載記事も本人の承諾を得て収録！

- A4判 80頁
- 1,998円（本体1,850円+税）2014年4月発行

株式会社 **ニホン・ミック**
CREATIVE FARM GROUP

TEL **06(6365)1560**

FAX **06(6365)9518** E **info@nihon-mic.co.jp**
〒530-0045 大阪市北区天神西町6番7号 ファイン・アートビル

*電話・FAXまたは、ホームページ上のWeb専用申込フォームからお申し込みいただけます

<http://www.nihon-mic.co.jp/>

ニホン・ミック

検索

教育学関係学術図書のご案内

価格は税別。

国語教育における話し合い指導の研究

長田 友紀著 9500円
話し合いを視覚化すると何が起きるのか？ 日米の国語教育における歴史を踏まえ、話し合い指導の理論をコミュニケーションの視点から構築した実証的研究書。

学習者の思考力 プログラミング教育の学習支援

宮川洋一・森山潤著 6000円
問題解決過程と知識構造、プログラム作成能力との因果関係に基づいた学習支援システムを開発し、中学生を対象とした授業実践を通してその効果を検証する。

英語力を伸ばす教育実践 一興味・関心を高める 日本と海外の取り組み

岡田 靖子著 4000円
海外の早期英語教育の事例を考察し、小学校英語教育の課題を示唆。また日本の大学における授業例を取り上げ、英語学習に対する関心を高める取り組みを検討。

通常学級に在籍する特別な教育的配慮の研究

猪狩恵美子著 8500円
慢性疾患の子どもの9割が在籍する通常学級の問題点を特別ニーズ教育の視点から明らかにし、通常学級での理解と支援のあり方を考える。

小学校理科教育におけるアーギュメント構成能力の育成

山本 智一著 5500円
小学校理科教育に、主張－証拠－理由付けを含むアーギュメントを導入するために、理論的背景と実践的研究から授業デザイン原則を提唱。その効果を検証する。

栄養教諭養成におけるカリキュラム開発研究

川越有見子著 13000円
学校給食の始まりから学校栄養職員及び栄養教諭の誕生と役割・職務の実態をつなぐ養成カリキュラム構成を考察。新たな栄養教諭養成カリキュラムを提案する。

ドイツ自由学校共同体的研究

渡邊 隆信著 9500円
ドイツ新教育を代表する自由学校共同体、オーデンヴァルト校。同校の生徒・教師が織りなす関係性の諸相を、未刊行一次史料の分析を通して実証的に解明した大著。

日本文化発信力育成の教育 首都東京の小学校の挑戦

永添 祥多著 2200円
我が国の学校教育における日本文化発信力の育成について、先駆的实践を行っている公立小学校の事例を検討。グローバル化につながる教育について考察する。

デュイ実験学校における統合的カリキュラム開発の研究

中野 真志著 9500円
米国におけるカリキュラム諸理論の歴史的な検討を踏まえた上で、デュイ実験学校の統合的カリキュラムの開発過程と授業実践の実態を明らかにした。

粒子理論の教授学習過程の構成と展開に関する研究

片平 克弘著 8500円
“物質は粒子からできている”子ども達の粒子認識の特徴から構成主義に立脚した新たな教授方略まで、粒子概念をめぐる理科教授・学習の本質に迫った教育者必読の書。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

先生のための教育資料データベース

東書Eネット

入会金・会費
無料

<http://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

●教員専用の会員制ネットワーク

東書Eネットは、教育情報専門の、小・中・高校・大学の先生方専用の教育情報サイトです。入会金や年会費は不要です。無料の会員制の教育専門サイトです。

●おもな資料やデータ例

- 小・中の学習指導要領関連資料や授業に役立つ指導資料(評価問題、ワークシート、授業プリントなど)
- 年間指導計画作成資料(評価規準資料付き)や、教材研究に活用できる「教科書単元リンク集」
- 教材作成のためのデジタルデータ、素材集・写真資料・ビデオクリップなど

●「東書メール」「ICT教育メール」

毎月、1か月間の新着情報を見やすく整理して、会員にEメールでお知らせしています。



好評のスマートフォンサイト

iPhoneやAndroid端末から東書Eネットにアクセスすると、自動的にスマートフォン専用サイトが表示されます。ぜひご活用ください。

※東書Eネットへのご入会は、パソコンから東書Eネットへアクセスしていただき、「入会手続き」ページよりオンライン登録をしていただくか、同ページから入会申込書を印刷していただき、必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送で東書Eネット事務局へお送りください。



お問い合わせ

東京書籍(株)教育サポートセンター TEN管理課 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
Tel:03-5390-7546 Fax:03-5390-6016 E-mail:net@tokyo-shoseki.co.jp



営業総務本部

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

Tel:03-5390-7481 Fax:03-5390-6012

東京書籍ホームページ <http://www.tokyo-shoseki.co.jp>



日本学校教育学会第 31 回研究大会 プログラム

発行年月日：2016 年 7 月 13 日

発行・編集：日本学校教育学会第 31 回研究大会準備委員会

大会準備委員長 原田信之

事務局長 古賀弘之

副事務局長 曾我幸代

〒467-0873 愛知県名古屋市長久区瑞穂町字山の畑 1

TEL：052-872-5808 / E-mail：31jase2016@gmail.com